

08

CHAPTER

AWS デプロイの 準備 1

ローカル環境から世界へ — AWS アカウントを作る

— 本書のサンプル章

この章で学ぶこと

01

なぜデプロイが必要なのか

localhost を超えて世界に公開する

02

AWS アカウントの作成

メアド・カード・電話認証で完了

03

無料枠 (6 ヶ月 + 200 USD クレジット)

学習用には十分の太っ腹枠

04

予算アラート設定

予期せぬ課金から自分を守る

05

セキュリティのベストプラクティス

ルートユーザー・パスワード・MFA

06

コンソールとサービス検索

ログインして目的のサービスを開く

ローカルから世界へ

BEFORE

localhost で完結

- ✗ 自分の PC でしか動かない
- ✗ 友人や家族に遊ばせられない
- ✗ ポートフォリオに使えない
- ✗ 実務スキルが身につかない

AFTER

公開された Web サービス

- ✓ URL を共有して誰でもアクセス
- ✓ ポートフォリオとして使える
- ✓ 実際の運用を経験
- ✓ 24 時間 365 日稼働

学習の流れ — 全 3 章でデプロイ完了

第 8 章

ここ

アカウント作成

コンソール基本

第 9 章

次章

請求アラート

IAM + AWS CLI

第 10 章

ゴール

EC2 デプロイ

実際に公開

PART 1

AWS アカウント作成

10分で完了する登録手順

アカウント作成 9ステップ



→ 完了するとサポートプラン選択 (Basic = 無料を選ぶ)

クレジットカード登録の注意点

MUST KNOW

登録は必須・1ドル仮承認

- 1** 無料枠でも
クレジットカード登録は必須
- 2** 1ドル仮承認
約 150 円。即座に返金される確認用
- 3** デビットカード
使用可能。一部サービスで制限あり
- 4** 3D Secure
カードによっては追加認証あり

INPUT FIELDS

入力する項目

- ✓ カード番号
- ✓ 有効期限
- ✓ セキュリティコード (CVV)
- ✓ カード名義
- ✓ 請求先住所 (連絡先と同じで OK)
- ✓ 支払い通貨 (JPY 推奨)

→ 全て入力後「同意して次へ」をクリック

電話認証 + サポートプラン選択

PHONE VERIFY

電話番号認証

- 1 国コード選択 *日本: +81*
- 2 携帯番号入力 *先頭の 0 は省略*
- 3 「SMS 送信」 *受信して届くまで待つ*
- 4 CAPTCHA 入力 *表示文字を打つ*
- 5 コード検証 *受信した 4 桁を入力*

TIP: 5 分待っても来なければ「音声通話で受信」を選ぶ

SUPPORT PLAN

サポートプラン

Basic

推奨

個人学習用に最適

FREE

Developer / Business / Enterprise

有料プラン (本書では不要)

→ Basic を選んで「サインアップを完了する」

アカウント作成完了のチェックリスト



コンソールにログインできる

<https://aws.amazon.com/jp/console/>



ルートユーザー情報を控えた

メールアドレス + パスワードを安全な場所へ



無料プランが選択されている

6 ヶ月 + 200 USD クレジット



カードの1ドル仮承認が返金された

確認用なので気にせずOK

PART 2

無料枠と費用管理

200 USD のクレジットを賢く使い切る



無料プラン（6ヶ月）の特徴

6

ヶ月

無料期間

200

USD

クレジット付与

自動

閉鎖

期間後アップグレードしないと

押さえるポイント

無料枠内サービスは

クレジットから消費されない

750 時間 / 月 = 31 日フル稼働

1 台運用なら全月 OK

有料プランも 200USD あり

違いはクレジット切れ後の挙動

東京リージョンは

t2.micro / t3.micro が無料

無料枠の主要サービス

EC2

仮想サーバー

無料枠

t2.micro / t3.micro
750 時間 / 月

本書で使用

EBS

ブロックストレージ

無料枠

30 GB
(EC2 のディスク)

本書で使用

データ転送

アウトバウンド

無料枠

15 GB / 月
インターネット送信

本書で使用

RDS

マネージド DB

無料枠

db.t2/t3.micro
750 時間 / 月

本書では未使用

残高確認と予算アラート

BALANCE CHECK

残高の確認方法

- 1** コンソールにログイン
右上アカウント名をクリック
- 2** Billing and Cost Management
請求とコスト管理
- 3** 「クレジット」タブ
残高 USD を表示
- 4** 「Free Tier」タブ
サービスごとの使用量

BUDGET ALERT (推奨)

予算アラートを設定

- ✓ Billing → 予算 → 「予算を作成」
- ✓ 予算額 : 180 USD
- ✓ アラート : 90% (162 USD)
- ✓ メール通知を有効化

TIP

180 USD でアラート設定 → 残り 20 USD で通知。
意図せぬ課金を未然に防げる。

PART 3

コンソール & セキュリティ

ログインして、サービス进行操作する基礎

マネジメントコンソールへのサインイン

| | | |
|----|------------|---|
| 01 | コンソールページへ | https://aws.amazon.com/jp/console/ |
| 02 | ルートユーザーで | 「ルートユーザーのEメールでサインイン」 |
| 03 | メアド入力 | アカウント作成時のメアド |
| 04 | パスワード入力 | アカウント作成時のパスワード |
| 05 | メール検証コード | 受信した数字を入力 |
| 06 | MFA 設定（任意） | 今は「省略する」で OK 本格運用時は必須 |
| 07 | コンソール表示 | ホーム画面が表示されたら成功 |

AWS サービスを素早く見つける

コンソール左上の検索バー

Q EC2

↓ 入力すると候補が表示される

EC2

Virtual Servers in the Cloud

CloudWatch

Monitoring & Alerts

CloudTrail

User Activity Logs

ECS

Container Service

→ 候補から目的のサービスをクリックして開く

検索のコツ

一部だけでも OK

「bill」で Billing が出る

英語名が確実

日本語より候補数が安定

★でお気に入り

検索バー横の星マーク

リージョンに注意

右上で東京 (ap-northeast-1) 確認

セキュリティのベストプラクティス

01

USE WITH CAUTION

ルートユーザー

最強の権限を持つ
慎重に管理する

- ★ 通常は IAM ユーザーを使う
(第9章で作成)

02

PASSWORDS

パスワード管理

パスワードマネージャー
推奨

- ✓ 1Password
- ✓ Bitwarden
- ✗ 共有 PC で「保存」

03

MULTI-FACTOR AUTH

MFA 設定

アカウント乗っ取り
防止に必須

- ✓ Google Authenticator
- ✓ Authy
- コンソールで設定

つまずきポイントと LLM 相談

01 アカウント作成エラー

症状

- クレジットカード登録失敗
- 電話番号認証の SMS 未着
- アカウント作成が完了しない

対処

- カード再確認 / 別ブラウザ
- 電話番号は先頭 0 なし
- 「音声通話で受信」を選ぶ

02 サービスが見つからない

症状

- コンソールで検索しても出ない
- サービス一覧に表示されない

対処

- リージョンを ap-northeast-1
- 英語名で検索
- ルートユーザーで再ログイン

TIP エラーメッセージをそのまま LLM に貼って質問する → 数秒で原因と対処が返ってくる

DONE

AWS の入口に立った。次は CLI と IAM。

この章で学んだこと

- ✓ AWS アカウントを作成
- ✓ 無料プラン (6 ヶ月 + 200 USD)
- ✓ クレジットカード登録 + 電話認証
- ✓ 予算アラート (180 USD で 90% 通知)
- ✓ ルートユーザーの安全な扱い
- ✓ マネジメントコンソールにログイン
- ✓ サービス検索 (英語名 + 東京リージョン)

無料枠は 6 ヶ月。残り時間とクレジットを定期的にチェックする。

NEXT

第 9 章

AWS デプロイの準備 2

- ▶ 請求アラート 詳細設定
- ▶ IAM ユーザー作成
- ▶ AWS CLI のセットアップ

→ コマンドで AWS を操る